

あだちどまんなか



# 中島根

平成29年2月28日  
足立区立中島根小学校  
校長 武井利依  
平成28年度3月号

子のたま 与に言うべくしてこれと言わざれば、人を失う。

与に言うべからずしてこれと言え、言を失う。

知者は人を失わず、亦た言を失わず。

校長 武井利依

明日から弥生、今年度も締めくくりの月を迎えます。男女ともにサッカー大会を終え、先週末には2日連続で発表の機会があったコーラス部が、今年度最後のステージで天使の歌声を披露しました。今週末の百人一首大会が最後の活躍の場です。様々なご協力に感謝しています。

学習についてもまとめの時期に入っています。先日、4年生が道徳の授業で活用した新聞記事について、東京新聞政治部の記者さんとの交流がありました。サーカスについての記事中の「ゾウを使う」という表現に対しての子どもたちのもった違和感について担任が代表して質問しました。その後、記事を書いた記者さんが、指摘されて初めて動物は人間が勝手に使うものではないと気づき「配慮が足りませんでした」とお返事を下さったのです。担任は、命を尊重する優しい心をほめられたこととともに、言葉のプロである記者さんでも間違えることもあり、その間違いに対してしっかり反省をし次に生かそうとしている、と子どもたちに話しました。

今年度最終月の論語は、先月の弟子の子貢(賜)と顔淵(回)について語り合った章句と同様に長い章句ですが、言葉の重みについて考えさせられます。「人の意見を聞いて、同じ意見をもったら、賛同すべきであり、発言しないまましていると、その人との信頼関係を取りつけられなくなる。反対に賛同すべきでないときに、ともに発言して賛同してしまうと、言の信用を失うことになる。知者はそのようなあやまちはないので、人の信用も、言の信用も失うことはない。」と教えています。日常的にも言葉はタイミングに左右されます。もしも、言うべきときに意見を言わなかったのに、あとから「実は、私もそう思っていたのですけれど…」などと言った途端に、それまでどんなに正しいことを言っていたとしても人からの信頼を失います。知者というのは、賛同するべきときにははっきり賛同し、そうではないときは余計な発言をしないので、言葉の感覚が研ぎ澄まされて、何も失うことがないというのです。言葉を発するときには、これが「人となり」つまり「ちょっとした行為の端々からにじみ出る、その人の人格とか人間性とか、うわべだけでは変えられないその人の本質」をあらわすと思わなければなりません。言葉を軽く扱わない人は、人に信頼され、その言も尊重されます。

最後に、記者さんからいただいた言葉を紹介し、結びとします。

「いろいろなことに疑問をもち、自ら考え、自分なりの答えを見つけていく。その答えが他人と違う場合は、お互いに尊重する。そんな子どもたちに育つことを心から願っています。」

# 3月の生活目標：身の回りの整理・整頓をしましょう

## 3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
SCはスクールカウンセラー来校の日です。 「あだち」はあだち小学生基礎学習教室です。 SSWはスクールソーシャルワーカー来校の日です。			1 SSW 4時間授業 6-1 バイクキング給食 あだち	2 6年生を送る会 お別れ給食 お別れ集会	3 SC 感謝する会 6年 1～5年は 4時間授業	4 百人一首 大会
5	6	7 SC 短縮時程・補習	8 6-2 バイクキング給食 あだち（終）	9 保護者会 1～5年	10 SC シェイクアウト 訓練 短縮時程	11
12	13 キャリア教育 6年 安全指導	14 SC 短縮時程・補習	15 SSW 4時間授業 6-3 バイクキング給食	16 地域班活動	17 大掃除	18
19	20 春分の日	21 給食終 卒業式予行 5・6年 1～4年は 4時間授業	22 給食なし	23 修了式 給食なし	24 卒業式 (1～4年は 休業日)	25 春季休業 始
26	27	28	29	30	31	

※避難訓練が3月中に1回ありますが、日時は事前に知らせずに行います。

## 2月の土曜授業

今年度の土曜授業の最後には、特に多くの保護者の皆様のご協力をいただきました。子どもたちは、保護者の皆様と一緒に活動することで学びをさらに深めることができます。さまざまなご支援ご協力に感謝申し上げます。来年度も、同じ時を同じ気持ちで過ごす機会を設けますので、ご都合を合わせていただき、ご参観いただけますようお願いいたします。

<4年生：2分の1成人式>



<3年生：七輪体験>



# H28年度男子サッカー大会女子サッカー大会

体育行事委員会 山本・近藤

## 男子サッカー大会

1月15日(日)に男子サッカー大会の予選リーグが行われ、2勝することができ、28日(土)の本大会に進むことができました。本大会では、子供たちが練習の成果を発揮して、足立区第3位という優秀な結果を収めることができました。しかし、子供たちは3位という結果に満足しておらず、優勝したかったと悔しい気持ちをもっていることにとても驚きました。この気持ちを次に生かしてほしいと思います。



## 女子サッカー大会

2月11日(土)に女子サッカー大会が行われました。結果は残念ながら、予選リーグ敗退でした。今年度は参加してくれた児童が多く、練習もやる気に満ち溢れていました。この悔しい経験をこれからの生活で、特に6年生には中学校生活でも生かしてほしいと思います。



## 両大会を通して

多くの保護者の方、地域の方に応援していただきました。ありがとうございました。

6年生は、もうすぐ卒業です。一人一人が笑顔で、最高の卒業式にしてほしいと思います。また5年生は、来年度中島根小の顔として頑張してほしいと思います。

最後になりますが、朝練や練習試合に快く送り出して下さり、朝早くから応援に駆け付けて下さった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

# 専科・わくわくルーム・講師から ～1年間を振り返って～

## 音楽 高田 めぐみ

3～6年生まで担当しています。今、5・6年生は卒業式に向けて取り組んでいます。

歌唱やリコーダーを中心にしたリズムや楽典などの学びの継続が音楽の本当の楽しさにつながってくると思っています。

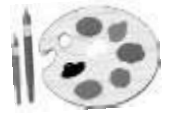
子どもたちと一緒にがんばっています。



## 図画工作 米田 陽一

子どもたちが自分なりの思いをもって「こうしたい!」とすすんで活動でき、絵筆や粘土を手へのびのびと表現できる図工の時間を目指しています。

子どもたちの変容を見守り支援できるようがんばります。



## 養護 小林 真紀子

いつも元気な子どもたちのおかげで、とても平和な1年間を過ごすことができました。

子どもたちが、健康に毎日を過ごせるようにこれからもがんばっていきたいと思います。

どうぞよろしくお祈りします。



## 算数少人数 小寺 文子

「わかった!」「解けた!」という時の子供たちのすてきな表情がたくさん見られ、充実した1年間でした。

これからも、「なぜ?」を大切に、よく考え、理解できる授業を目指して、日々努めていきたいと思っています。



## わくわくルーム 山下 昌人

自分の得意なことをさらに伸ばそうとするだけではなく、自分の苦手なことと向き合っていこうとする子どもたちを近くで応援できることに幸せを感じています。成長を実感した時の子どもの笑顔はとても輝いています。担任の先生や保護者の方々と協力しながら、一人一人の笑顔のために精一杯努めてまいります。



## 算数少人数 鈴木 愛一郎

中島根小学校に戻ってきて、3年になりました。難しい問題があっても粘り強く取り組む姿や、集中して課題に取り組む姿など、精神面での成長を感じる瞬間が多くあり、とても嬉しく感じています。生きる力や学力の土台となる心の成長を大切にしながら、発見の感動とできる喜びのある授業を行っていきたくと思っています。



## わくわくルーム 大野 舞

わくわくルームでは、一人一人の課題に合わせて、個別指導、小集団指導を担当しています。コミュニケーション面、学習面など課題は様々ですが、少しずつ成長が感じられ、嬉しく思います。これからも、子どもたちと楽しく学習できるよう、頑張っていきます。



## 家庭科・2年書写 大橋 美智子

家庭科では衣食住生活だけでなく家庭や地域とのかかわり、環境や消費生活のことなどについても学習してきました。それらを通して家庭や社会の一員としての自覚をもち自分にできることを見つけて実行できるようになることを願っています。2年の書写では常に姿勢や鉛筆の持ち方を意識して書くようにしてきました。他教科でも字形を整えて書くようになることを願っています。



## わくわくルーム 倉持 勝義

今年度新設の「わくわくルーム」での学習を通し、地道に伸びてくる多くの子たちに、設置された意義を十分に見出すことができました。ご指導されている先生を支援する立場として努めました。次年度も子どもたちの成長を期待しています。



## 4年社会・5年書写 益子 芳子

今年も、4年生の社会科を担当させていただきました。身近な水やごみのこと、荒川の歴史、東京都の自然や産業などについて学習しました。

5年生とは週1時間、習字の学習をしました。静かに落ち着いて筆を運ぶ姿に、子どもたちの成長を感じました。



## そだち指導 一瀬 法子

2階のマスタールームで、国語と算数の個別指導をしています。算数少人数の先生方、担任の先生方と協力して、一人一人の躓きをみつけ、解消していくお手伝いです。わかった!できた!と、瞳を輝かせて課題を乗り越えていく時、学ぶことの喜びを実感している姿に、私自身も大きな感動を味わわせていただいています。一年間、ありがとうございました。

